

妙法寺だより

平成三十年

御盆号



一、お盆法要について

お盆法要は、8月16日（木曜日）

午前11時～新盆供養法要

午後2時～お盆（施餓鬼会）法要

を厳修致します。

ご家族揃ってご参列ください。

二、卒塔婆について

お盆供養のために卒塔婆をお建てし、その御心を捧げます。

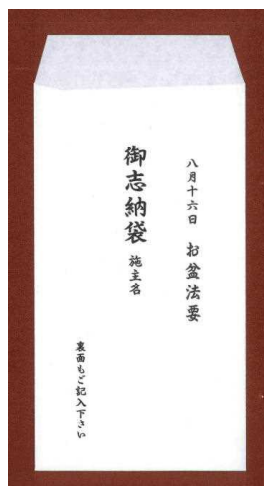
・同封の「卒塔婆申込用紙」に必要な事項をご記入頂き8月6日迄に同封の返信用封筒にてお申込みください。また、FAX・Eメールでも受付しております。

・卒塔婆はお申込み頂きました順からお書きし、本堂に供え、毎日の朝勤にて読み上げご供養を致します。

・申込みが多い方は用紙をコピーしてご使用ください。

三、志納袋について

・「施餓鬼料・卒塔婆料・新盆供養料」は、御志納袋（左写真）にお納め頂きご持参ください。



八月十六日 お盆法要 卒塔婆申込書					
氏名	住所	電話	卒塔婆料	施餓鬼料	新盆供養料
妙法寺 FAX 番号 045-812-7676					

卒塔婆申込書

F A X : 045-812-7676

E-mail : butuji@myouhouji.jp

四、法要参列の心得

・表面にはお名前を、裏面には内訳と合計金額をお書きください。

・施餓鬼料：お盆法要へのお布施

・卒塔婆料：卒塔婆料

・新盆供養料：新盆を迎える方が、

お寺にお納め頂く特別供養料

・「志納袋」は、当日受付にお渡しください。

・法要中、皆様と一緒にお経をお唱え致します。お数珠、お経本をご持参ください。また本堂入口でもお経本は配布しております。

・お焼香は混雑致しますので、譲り合って行ってください。

・法要後、卒塔婆を探される方で混み合います。案内に従ってお待ちください。

五、御連絡

・ **8月11日（祝）～16日まで**、お墓用の生花を用意しております。

【数に限りがございますのでご注意ください】

◎ 生花（お線香付き）

1束…750円

1対…1500円

◎ お線香

1束…100円

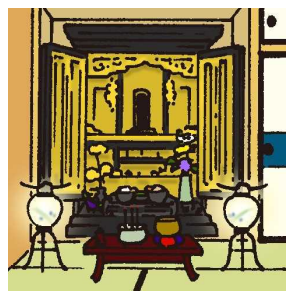


・ 古い卒塔婆は、お盆が終わりましたら、お焚き上げ供養を致しますので、所定の卒塔婆置場にお持ちください。

・ 本年度の護持費を受付けております。8月16日には、専用の窓口を用意致しております。

・ お盆期間中（8月11日～16日）は墓地裏口（小学校側）を臨時駐車場として開放致しております。おみ足の不自由な方なども、お車で直接お墓参り頂けます。

お盆のお飾り



お盆のお飾りで大事な点は「末永く続けられる」ことであります。

日蓮聖人が「火の信仰より、水の信仰」と教えられているように、ご供養は川の流れるように長く続けていくものです。毎年のお飾りは無理をせず、仏具店などで販売されているお盆用品を上手く使いながらも、心のこもったお供えやお飾りを一つ二つ添えて頂くのがよいと考えます。



オリジナル漫画

おぼんのおはなし



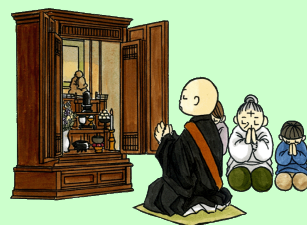
昨年に引き続き、住職が監修しましたお盆マンガ「おぼんのおはなし」を同封します。

このお盆マンガは、お寺のスタッフがお盆を皆さんにわかりやすく伝えようと調べるなかで、自分自身も知らなかった仏様の教えが詰まったお盆の由来をたくさんの方に知ってもらいたいと企画したところから始まりました。お年寄りから子供まで、幅広い年代の方に楽しく、わかりやすく仏教を知ってもらいたいとの願いからマンガという形になり、皆様にお届け致します。

棚経のご案内

棚経とは…
たなきよう

お盆の時期に菩提寺の僧侶が、各家々のお仏壇を回り、自宅に帰って来られたご先祖様に対し、お経を上げ供養する大事な仏事です。



7月の日程

8月の日程

10日 中区・金沢区・磯子区
11日 鶴見区・港北区・青葉区
緑区・都筑区
12日 港南区
13日 南区
14日 西区・神奈川区
15日 保土ヶ谷区・戸塚区平戸（一部）

5日 鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市
横浜市栄区
6日 旭区
7日 瀬谷区
8日 戸塚区
戸塚町・吉田町・矢部町（一部）
柏尾町・舞岡町・南舞岡（日限山）
下倉田町・上倉田町
9日 南本宿講中

10日 泉区 上飯田町・下飯田町・和泉中央南・和泉町・泉ヶ丘・下和泉
戸塚区 深谷町・汲沢町・原宿町・矢部町（一部）
11日 泉区 岡津町・新橋町・弥生台・西ヶ岡・緑園都市・領家・白百合・中田（東西南北）
戸塚区 鳥が丘
12日 戸塚区 秋葉町・前田町・川上町・上矢部町・平戸（一部）
平戸町・上柏尾町・品濃町
13日 名瀬幼稚園周辺・金房講方面
午前中Ⅱ三丁目（中村講中）
午後Ⅲ夕方Ⅱ四丁目・鷹の台周辺
14日 二丁目（下講中・妙法寺周辺）
午前中より上矢部方面
（上矢部講中・羽根沢周辺）
15日 一丁目・歌舞伎方面

▼お伺いするお宅には事前にお葉書にて「日にち」「時間帯」をご連絡致します。ご確認ください。

～お盆棚経のご案内～

下記の日時に
棚経にお伺い致します

様

月 日

※お盆中は一日に多くのお宅にお伺い致します。
諸事情により時間が早まったり、遅れたりする場合がございます。御案内する1時間前後、余裕をもってお待ち頂くようお願い申し上げます。

※ご不明な点はお問い合わせください。

▼**ご不在の場合は事前にご連絡ください。**

▼**新盆をお迎えになられる檀家さんで、**
新規に棚経を希望される方は早めにお申し出ください。

▼**右の表に無い地域の方で、**棚経のご希望の方は、個別にて調整させて頂きま
す。お気軽にお申込ください。

▼お盆期間中は一日に多くのお宅にお伺い致します。交通事情などにより、ご案内する時間より早まったり、遅れたりする場合がございます。**1時間前後余裕をもってお待ち頂けますようお願い**

い致します。

▼お盆期間中に、ご葬儀などが入った場合には、大幅な時間調整をお願いすることがございます。何卒、ご海容の程お願い致します。

新しい お坊さんのご紹介



とよやま こうだい
豊山 孝大

豊山孝大上人は長崎県のご出身。学生時代より、日蓮聖人の御入滅の聖地、東京都大田区の池上本門寺で修行されながら大学に通われ、その後も池上本門寺で10年奉職されました。大荒行堂を2回修められていることから、池上本門寺では主にご祈祷やご祈願を担当されていたそうです。



さくもと こうしょう
作元 功照



もりかけ こうしん
森影 康伸



あお た ずいしょう
青田 随鐘



さかもと しょうこう
坂本 昌宏

住職を含め6名の僧侶でお盆のお経にお伺い致します



お盆法要は

左記の時間帯にて

営みます。

新盆の方を対象とした、

法要は、**午前11時より**

一般の方を対象とした、

法要は、**午後2時より**

営みます。



〓 お車でお越しの方へ 〓

裏山の駐車場も数に限りがあるため、公共の交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。

また当日は大変混み合いますので、警備員の誘導に従い、譲り合ってご駐車ください。

※車椅子でご参列の方は専用の駐車場をご準備致します。事前にご一報ください。



東戸塚ライオンズクラブ主催

ほおずき市

七月十四日(土)

午前九時〜

ほおずき

こどもおもちゃコーナー

やきとり

バザー

流しうどん

かき氷

焼きそば

射的

生ビール

手作りお菓子や小物

ポップコーン

地域野菜

■護持総会報告

4月15日(日)午後5時より、妙法寺役員のご出席をいただき「平成30年度護持総会」が行われました。護持費をお納め頂いております皆様には、別紙「護持会決算報告」を同封致しますのでご確認ください。

護持費とは

お寺を護持(維持管理)するために、お檀家さんご信徒さんが納めて頂く年会費のようなものです。妙法寺の役員さん(総代・世話人)によって管理され、年に一度、決算報告を行っております。皆様には年に一度の納入をお願いしております。

「振込はできないの？」との、問い合わせを頂きますが、原則として行っておりません。それは人と人との縁を大事にするお寺として、年に一度でもお墓やお寺にお参り頂き、皆様のお姿を拝見したいと考えるからです。

※入院などで、やむを得ない場合にはご相談ください。

■御奉納・御寄付

大黒尊天 御厨子

杉山家先祖代々追善供養之爲

奉納主 杉山定三

金一封

善修院日行信士位追善菩提之爲

奉納主 猪口弘子



大黒尊天の御厨子

妙法寺の受付にお祀りされております、大黒さまのお厨子を杉山定三様が、ご奉納くださいました。日蓮宗では、受付や玄關に大黒さまをお祀りする習慣があり、お寺にいらつしやる皆様を、ふくよかな笑顔でお迎え、福德を授けてくださいます。

■本堂の椅子を買い足しました

近年、行事での参拝者も増え、皆様より「もつと椅子が欲しい」とのご要望から、今までの椅子の座面を張り直すと共に、新たに50個の椅子を買い足しました。

また、お盆法要の時に本堂に入りきれない方も多くいらつしやることから、客殿でも法要の様子が見られるよう、テレビ中継の準備を進めております。



浄心道場

日々の疲れた心を

癒やし清らかにする

心みがきの価値ある日曜日

ゆつくりと自分の向き合う

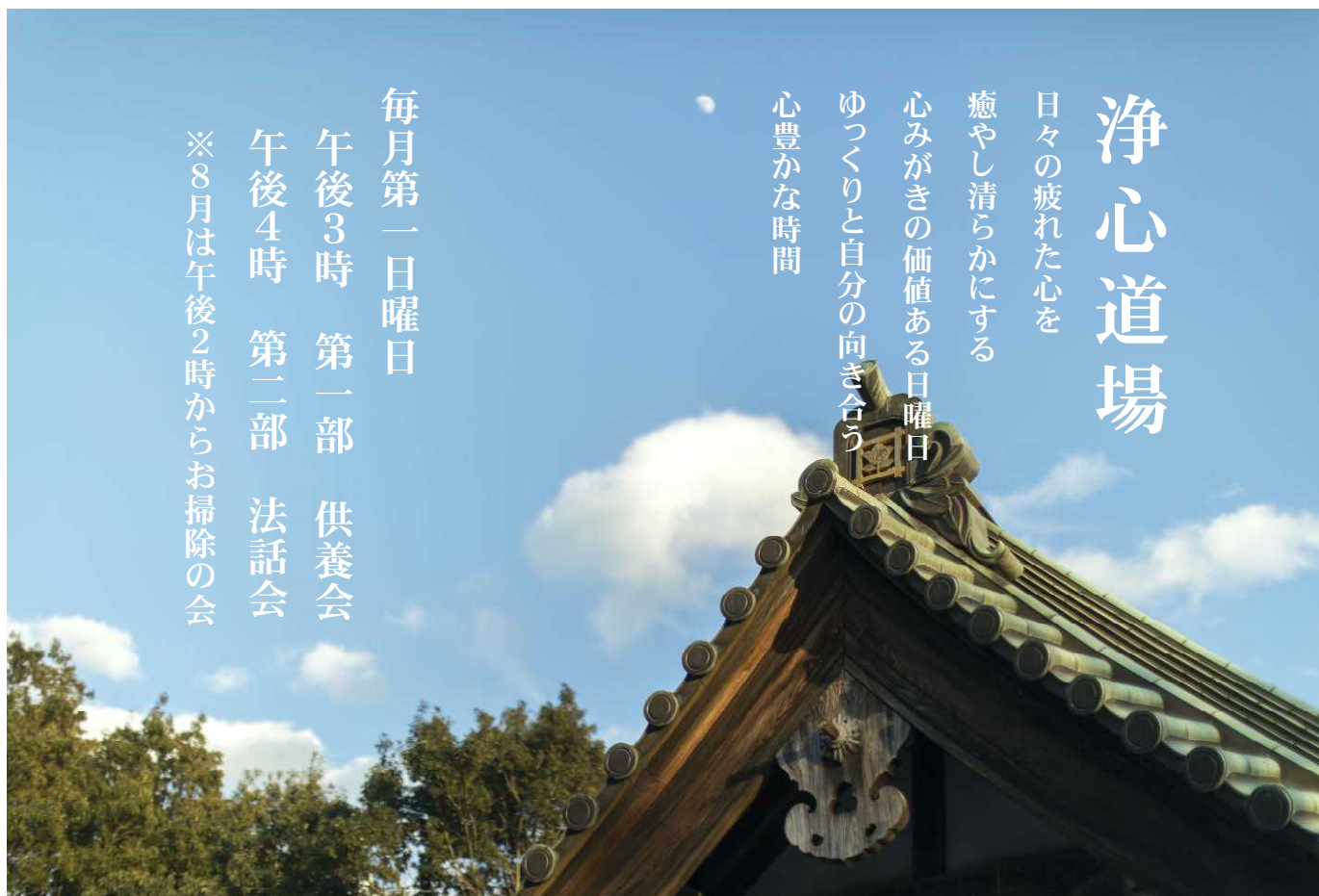
心豊かな時間

毎月第一日曜日

午後3時 第一部 供養会

午後4時 第二部 法話会

※8月は午後2時からお掃除の会



7月1日の浄心道場 第二部

【テーマ】オリジナル腕輪数珠を

つくってみよう

【講師】身延山 松司軒数珠仏具店

総本山の身延山より、松司軒数珠仏具店さんにお越し頂き、オリジナルの腕輪数珠づくりを体験します。また、当日はお数珠などの仏具の販売や修理の受付も行います。

※参加費・材料費…2000円



8月5日の浄心道場

8月5日の浄心道場は、午後2時よりお盆に向けた大掃除を行います。お掃除のお手伝いをしてくださるボランティア（ご奉仕）の方を大募集致します。

当日は、動きやすく、汚れても良い格好でお集まりください。境内を掃除し、自身の心の掃除もしてみませんか。掃除をすることによって、心の塵を払い、心の垢も除かれることと請け合い、まさに「浄心」です。

日蓮聖人は「一念無明の迷う心は磨かざる鏡なり。これを磨かば必ず法性真如の明鏡となるべし」と教えられております。



シリーズ

うちのお寺は日蓮宗

第二十五段

自分自身のための浄心道場

毎月第一日曜日に開催している「浄心道場」。最近では妙法寺のホームページを見て参加される、檀家さんでも日蓮宗でもない一般の方が増えてきました。ご先祖様のお墓参りや法事のために妙法寺に来るのでは無く、自身自身の人生を豊かに生きるヒントを見つけに妙法寺に来ているという感じです。私としてもそのような方が増えていくことをとても嬉しく思っています。そしてその方々からよく聞かれるのが、「仏教的に生きるための心構えはなんですか？」という質問です。そう聞かれて私が真っ先に答えるのは「仏教の大事な心構えは手放すこと。そして受け入れることだと思っています」ということです。今回は、そんな仏教的生き方の一端を「うちのお寺は日蓮宗」のコラムにしたいと思います。



喜びを捨てる

「手放す」と聞くと「損をしてしまうのではないか」というマイナスのイメージがあるのではないのでしょうか。お寺にお参りをする「喜捨」と書かれているお賽銭箱にときどき出会います。お寺や神社などにお金やモノを施すことを「喜捨」と言います。これは「喜んで捨てる」「喜びを捨てる」という意味です。欲望の象徴である「お金・モノ」を喜んで捨てさせて頂くことによって、自身の執着や我欲を捨て離れるということでもあります。私たちがお寺にお参りし、お賽銭を投げ入れ、捨てるべきもの、手放すべきものは、



- ▽強欲・貪欲な心 ▽しがみついている地位や名誉
- ▽不要なプライド ▽凝り固まったこだわり
- ▽人から認められたいという承認欲求

などの執着でありましょう。その執着をお賽銭と共に捨て、清らかなる心で手を合わせる事が大事なかもしれません。

もろもろの執着を離れしむ

お釈迦様は、法華経の2番目のお経のなかで、
 成仏してよりこのかた、種々の因縁・種々の譬喩を
 もって、広く教えを演べ、無数の方便をもって、衆生
 を引導して諸の着(著)を離れしむ。

と、説かれております。これは、お釈迦様は悟りを開かれて以

来、さまざまな教えや例え話を多く説き広め、人々の心から執着を取り除くように導いてきた、という意味であります。お釈迦様は、私たちの執着の心、エゴイズムな心が不幸へと陥れていくと教えられています。自分自身の執着を強く握りしめ、手放すことができないことで、新しいもの、もっと大事なものに気づかず、つかめないでいるのです。一度手放してみることが大事であるとお釈迦様は教えられているのかもしれない。

受け入れること

そして「受け入れる」ということは、「自分自身の人生を受け入れる」ということです。なかなか難しいことなのですが、人間、生きていてもなかなか自分の思い通りにはならないものです。例えば、

▽苦しい体験 ▽悲しい思い ▽失敗の体験 ▽損すること
▽コンプレックス ▽人から悪口や皮肉を言われたり、
誤解されたりすること。など

そのような自分にとって受け入れたくないものを避けたり、もがいたり、遠ざけたりすればするほど、なかなか離れていかないものです。最近、とある大学の監督の記者会見などの報道を見ますと、言い訳をすればするほど、自分の非を認めないようにすればするほど、より深く疑われたり、いらぬ誤解を招いたりしているように感じます。仏教の言葉「諸法実相^{しよほうじつそう}」は「ありのままを受け入れる」ということでありま



す。苦しみは、苦しみとして受け止め、喜びは、素直に受け止め、人からの悪口も「あの人からはそんなふうに見えるのだ」と受け止める。自分の良い部分、悪い部分も理解し受け止める。そのような受け止める心を養い、穏やかながらも動じることのない強い心をつくるのが仏教のチカラなのだと思います。

住職が苦しんだ捕らわれの心

私も10年ほど前、しばらくの間「捕らわれる心」に苦しんでいた時期がありました。11年前の平成19年に先代住職である久住謙是上人を67歳で亡くしました。息子である私が言うのもなんですが、先代住職は、日蓮宗の行政本部の内局役員、総本山身延山の部長職、大学の先生など、日蓮宗内の様々な要職を歴任し、日蓮宗内では知らない人はいない程の有名人でありました。そんなことから、私も先代住職と同じように、「日蓮宗の中で偉くならなくてはならない！」「先代住職の顔に泥を塗ることになる」と力^{りき}んでいた時期がありました。お寺の仕事よりも、お坊さん世界の仕事を優先し、あまりお寺のことに目を向けない時期がありました。一生懸命に勤めながらも、そのうちに「なんのための僧侶なのか？なんのための仏教なのか？」と、自分が力^{りき}みながら一生懸命に立ち振る舞う姿に違和感を感じ、その思いはだんだんと膨らんでいきました。とあることをきっかけに、「先代住職と同じように、優秀でなくても、同じポストを目指さなくても良いのではないだろうか。自分らしい僧侶の



みなさんも自分自身の「執着の心、受け入れない心」に苦しまされていませんか。手放したくないと思っているものを手放すことによって、受け入れたくないものを受け入れることによって、より大きな幸せや気づきが得られ、道が開かれ、光が差し込んでくるのではないのでしょうか。



あり方があるのではないだろうか」と感じ、心や生き方を改め、お坊さん世界で名を上げることを手放すことにしました。以来、大きな肩の荷が下りたようで、自分らしく仏教と向き合い、自分が感じた言葉で、人々に語るようになりました。清々しい気持ち、楽しい気持ちでお坊さん業に取り組みるようになりました。数年後のことです。私の取り組みを見つけてくれた、テレビ関係者からテレビ出演のオファーが来たり、日蓮宗の行政機関からは今まで以上の大きなプロジェクト委員に抜擢されたりと、捕らわれを捨てて以来、もっと大きく、やり甲斐のあるものを手に入れることができたように思います。

2年間勤めました、名瀬小学校のPTA会長も、任期満了に伴い昨年度をもちまして無事に終えることができました。先生方、保護者の皆様、地域の皆様との交流を通じて、お寺では学べないさまざまなことを学ぶ良い経験となりました。



商店街といつこともあって、座って聞く人や通りすがりに立ち止まって聞く人など、貴重な体験になりました。



4月22日、熊本地震から三回忌の節目にあたり熊本県内のお坊さんたちが中心となって、復興を応援するイベントが、熊本市内の中心街で開催され、多くの人たちが訪れました。私（住職）はご法話担当として応援させて頂き、商店街のアーケードの中に畳を敷いた特設ステージでお話させて頂きました。



6月には、社会科見学や町探検に、多くの小学生が妙法寺に訪れます。